

MD生ワクチン(HVT)



製品概要



【主剤】

凍結ワクチン 1mL (1,000羽分)中、
鶏胚初代細胞培養七面鳥ヘルペスウイルス FC126株(シード) $10^{6.0}$ FFU以上

【貯蔵方法と有効期間】

貯蔵方法：-190℃以下
有効期間：製造後2年3か月間

【用法及び用量】

凍結ワクチンを素早く融解後、別売りの溶解用液(品名：「マレック/バッグ」あるいは「マレック溶解用液-IZO」)で1羽当たり0.2mLとなるように溶かし、0.2mLずつを1日齢鶏の頸部皮下に接種する

【包装】

1 アンプル(2mL 2,000羽)

20230404 Vaxxinova Japan©

本製剤は要指示医薬品です。獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

(製造販売)

ワクチノーバ株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目24番8号
オリックス浜松町ビル4階

TEL : 03-6895-3710 FAX : 03-6895-3711

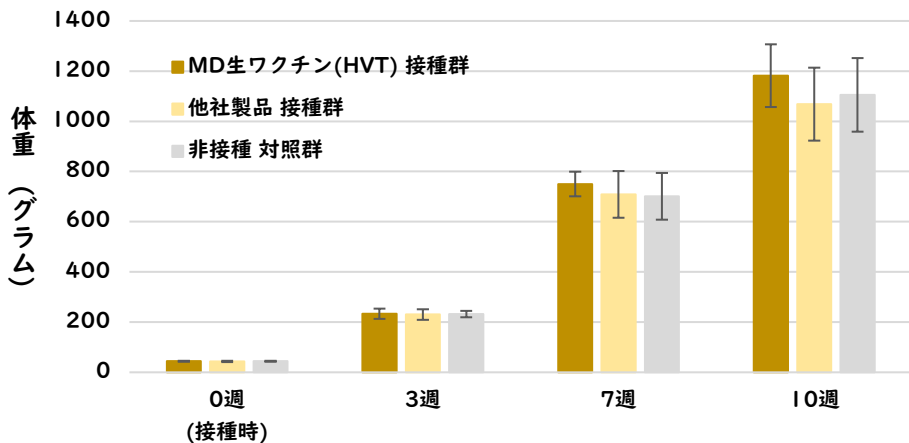
E-mail : contact@vaxxinova.co.jp

<https://www.vaxxinova.co.jp>



安全性 高用量試験による安全性の確認

高用量試験による平均体重の推移



実験室内データ
SPF鶏 20羽/群
ワクチン接種日齢：1日齢
投与経路：皮下接種
投与量：それぞれ300,000FFU/羽

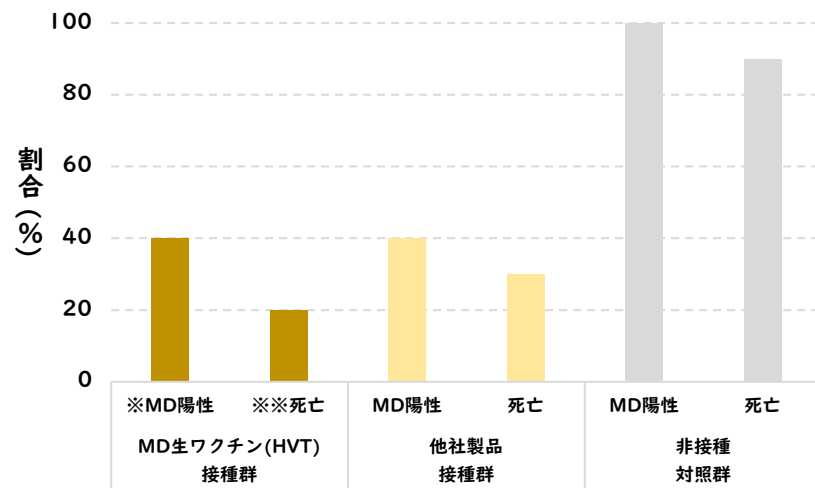
(承認申請データ)

- ◆ 接種群において脚弱や脚麻痺等マレック病を疑う症状は認められず、非接種対照群を含むすべての試験群で一般臨床状態の異常は観察されなかった。また、体重は順調に推移し、0、3、7および10週目では各試験群間に差は認められなかった。



有効性 攻撃試験による市販製品との比較

超強毒株による攻撃後70日間のMD陽性率と死亡率



実験室内データ
SPF鶏 10羽/群
ワクチン接種日齢：1日齢で3,000FFU/羽 皮下注射
攻撃日齢：8日齢で腹腔内投与
攻撃株：RB-1B株(超強毒株) 500FFU/羽
※MD陽性：臨床症状や病理解剖学的検査(諸臓器の腫大・白色結節病変、ファブリキウス囊・胸腺の萎縮変化、末梢神経の腫大)によりMD病変陽性とした。
※※死亡：期間中に死亡した個体の中で、生存中にMD様の臨床症状が認められた個体と、死亡後の病理解剖学的検査によりMD病変が確認できた個体をMDによる死亡と判定した。

(承認申請データ)

- ◆ 非接種対照群は攻撃後6日目から元気消失などの症状が確認され、28-48日目にかけて10羽中9羽が死亡し、MD陽性率は100%であった。一方、MD生ワクチン(HVT)接種群は攻撃後26日目までに2羽死亡し、MD陽性率は40%にとどまった。他社製品接種群については攻撃後28日目までに3羽死亡し、MD陽性率は40%であった。